

平成28年8月19日

国土交通省九州地方整備局

八代河川国道事務所

「第2回 球磨川水系水防災意識社会再構築会議」を開催！

水防災意識社会 再構築ビジョンに基づく

「球磨川流域の減災に係る取組方針」を策定します。

平成27年9月関東・東北豪雨による水害を踏まえ国土交通省が提起した「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づき、概ね5カ年で実施する「球磨川流域の減災に係る取組方針」を策定するため、本年6月に流域の市町村長等を委員とした「球磨川水系水防災意識社会再構築会議」を設置しました。

その後、防災担当者等で構成された幹事会等において、球磨川流域における水害リスク情報や現在の取組に関する情報共有、球磨川の氾濫時に想定される主な課題を確認し、それらの課題を踏まえた取組方針案をとりまとめました。

今回、第2回会議を開催し、幹事会でとりまとめた取組方針案について確認し、概ね5カ年で流域内市町村、県、国が実施する減災に係る取組方針を策定します。

●開催日時・場所

平成28年8月24日（水） 10:00～11:30

熊本県球磨地域振興局 別館2階 大会議室

住所：人吉市西間下町86-1 TEL：0966-24-4112

●会議出席機関

・球磨川流域2市5町5村、熊本県、熊本地方气象台、九州地方整備局

●会議内容

・球磨川流域の減災に係る取組方針（案）について

※会議内容については、変更する場合がありますのでご了承ください。

※第1回会議の開催状況については別紙、または、当事務所ホームページをご覧ください。

八代河川国道事務所ホームページ (<http://www.qsr.mlit.go.jp/yatusiro/>)

●取材について

・テレビカメラ等による撮影は、会議進行の妨げにならないようご配慮願います。

[問い合わせ先]

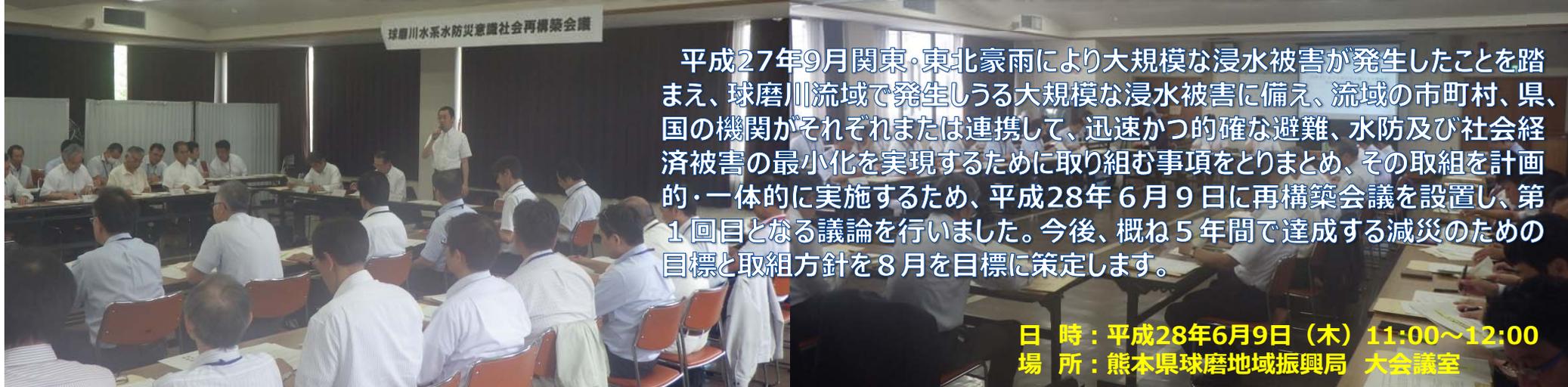
国土交通省 九州地方整備局 八代河川国道事務所

技術副所長 荒木 和幸

調査課長 小林 侑

TEL:(0965)32-4135 FAX:(0965)32-1688

第1回 球磨川水系水防災意識社会再構築会議を開催！



平成27年9月関東・東北豪雨により大規模な浸水被害が発生したことを踏まえ、球磨川流域で発生しうる大規模な浸水被害に備え、流域の市町村、県の機関がそれぞれまたは連携して、迅速かつ的確な避難、水防及び社会経済被害の最小化を実現するために取り組む事項をとりまとめ、その取組を計画的・一体的に実施するため、平成28年6月9日に再構築会議を設置し、第1回目となる議論を行いました。今後、概ね5年間で達成する減災のための目標と取組方針を8月を目標に策定します。

日時：平成28年6月9日（木）11:00～12:00
場所：熊本県球磨地域振興局 大会議室

委員名簿

●流域市町村

八代市長
人吉市長（会長）
芦北町長
錦町長
あさぎり町長
多良木町長
湯前町長
水上村長
相良村長
五木村長
山江村長
球磨村長

●熊本県

知事公室 危機管理防災課長
企画振興部 川辺川ダム総合対策課長※
土木部 河川課長
市房ダム管理所長
県南広域本部 土木部長
芦北地域振興局 土木部長
球磨地域振興局 土木部長
※ オブザーバー

●国の機関

気象庁 熊本地方気象台長
九州地方整備局 八代河川国道事務所長
九州地方整備局 川辺川ダム砂防事務所長

（会長は、事務局からの推薦により「人吉市長」が任命された。）

議事内容

- 「再構築会議」設置及び「規約」の合意形成
- 「再構築ビジョン」「水害リスク情報や取組状況」の情報共有
- 「取組目標」「今後のスケジュール」の意見交換

委員の方の主なコメント

- 自然災害は、いつ発生するのか分からないが、それに備えるのが行政の使命であり、併せて、住民の方々にも同じ意識を持ってもらうことが重要。
- 国、県の河川管理者は、治水のために河川整備に尽力いただいている。我々も、住民、関係市町村、国や県と一緒に、ソフト的な整備も進めていく必要がある。

[問合せ先]

国土交通省 九州地方整備局 八代河川国道事務所 調査課
〒866-0831 八代市萩原町1丁目708-2、電話0965-32-4135（代表）

